

凜

Rin

Osaka Ohtani
University

STUDENT INFORMATION MAGAZINE

vol.01
2016.01



Interview

学長の素顔に迫る

特別インタビュー

Feature

特別座談会開催

祝、卒業。

卒業記念パーティー特集



普段の学生生活ではなかなか接する機会のない学長。そんな尾山学長の素顔を少しでも学生に知ってもらおうべく様々な角度からのインタビューにお答えいただきました。

今年は大学創立50周年の節目を迎えられましたね。

50年は十分に長い年月であり、50周年というのは、これまでの大学の歩みを振り返ったり、今後の行末を考えるにあたってちょうど良い節目です。これまで本学では、豊かな情操と高い実践力を有する23,000人を超える卒業生を送り出してきました。また、卒業生の皆さんが学生時代を懐かしみ、本学を愛し支えたいだいでいることに喜びを感じると共に本学の誇りです。この50周年を機に、本学の特色である建学の精神「報恩感謝」に基づく人間教育と高い実践力を育成する教育を更に磨き上げ、学生の成長や社会の発展のために貢献して行きたいと思っております。

学長が求める学生像についてお聞かせください。

大学とは、学生の皆さんが長い人生を胸を張って生きていくことができるようにその基盤を築く場だと考えています。まずは自分の強みをしっかりと築き上げてほしい。そのためには所属の学部・学科の勉強をしっかり行うことが第一です。また、大学は新たな知識を吸収し、自己認識を確立する場でもあります。自分の好きな事を見つける、自分と他人の違いを認識する、歴史や社会情勢の変化の中で自分の立ち位置をしっかりと把握する。そういう事も学生時代に取り組みで欲しい。そのために色々な事に積極的に挑戦して欲しいと思います。



Interview

学長インタビュー

大阪大谷大学 学長
尾山 眞之助 氏

学生時代は一度きり、色々な事に積極的に挑戦してください。



では、学生時代に経験しておけばよいと思われることは何でしょう？

学生時代は感受性がとても豊かな時期なので、自分が少しでも気になったことや興味の湧いたものなどには臆せずどんどん積極的に取り組み、チャレンジして欲しいですね。自分の例で言えば、私は高校時代にテニス部に所属していました。それほど強い選手ではありませんでしたが、若いころに熱中したので、テニスの醍醐味は充分理解しているつもりです。そして、躍動する喜びを噛みしめていた日々の記憶は、今でも私を元気づけてくれます。また、芸術に親しむこともお勧めします。私自身は、クラシック音楽を学生時代には毎日のように聴いていました。それぞれの曲が持つ構造を理解できれば、演奏家が何を表現しているのかが分かったり、深く楽しめるのがクラシック音楽の魅力です。自分がどのようなことに感動する人間であるか知ることできます。学生の皆さんにはぜひ、興味を持ってたくさん聴いて欲しいですね。あと、今になって思えば英会話をきちんと勉強しておけば良かったと思っています。それができていればもっと世界が広がっただろうと思います。学生の皆さんには、こだわりを持たずにできるだけたくさん様々な経験を積んでもらいたいと思っています。

学長はどのような学生時代を過ごされたのですか？

私の学生時代を振り返ると、一生懸命勉強していたこと、そして恋に悩んだことを思い出します。私は法学部で将来は法律家が国家公務員を目指していましたので、司法試験に合格するために必死で勉強しました。試験前半期間は、朝起きてから寝るまで全て勉強していたと思います。残念ながら司法試験には合格できませんでしたが、国家公務員試験には無事合格することができ、当時の



文部省に入ることができました。そして、青春時代に思い出すのは恋の記憶です。相手は大学で音楽を勉強している、同じ高校の2つ年下の女性でした。音楽にも詳しくなく、口下手な私は自分の欠点について随分と悩みました。それでも本をたくさん読んだり、音楽をたくさん聴いたり、少しでも克服しようともがきました。恋は自分に足りないものを教えてくれる一方、補おうと努力する原動力にもなりますから、学生の皆さんにも恋を大切にしていきたいと思っています。私も努力の甲斐あってか、その相手が今の妻です。



学生時代の尾山学長

ご趣味や今夢中になられていることはありますか？

テニスやゴルフ、プロ野球チームの応援など一時期熱中したものはいくつもありますが、一番長く続いているのは先程もお話しましたクラシック音楽の鑑賞です。同じ曲のCDを何種類も持って、自宅でリラックスしながら聴き比べなどを楽しんでいます。中でもお気に入りにはモーツァルトやベートーヴェン、ブラームスも好きですね。音響にもこだわっていますが、やはりコンサートホールで聴く生の演奏は格別で、クラシックコンサートにもよく出かけています。それと、大阪に来てからは、関西の歴史や文化に触れることを普段から心掛けるようにしています。関西は長く歴史の中心地であり、日本人が古くから大切にしている美意識が感じられる場所がたくさんあります。名所は概ね足を運びましたが、大河ドラマなどでまだ行っていない場所が紹介されると、できるだけ行ってみたいと思っています。

最後に学生にエールをお願いします。

このインタビューの途中にもお話しましたが、限られた学生時代のなかで、可能な限り様々な事に挑戦してください。その際、直接体験を大切にしてください。直接体験は、五感を通して対象を深く知ることができます。そして、強い印象をもたらす、その記憶は自分の中に根付きます。直接体験の機会を多くすることで、新たな視点を獲得し思考が広がり、自分自身を発見することができ、より深みのある人間へと成長できるはずです。私たちはこれからも学生の皆さんが安心して学び成長できるように、どんどんバックアップしていきます。どうか今しかない学生生活を存分に謳歌してください。

vol.01
INDEX 目次



02 Interview

・尾山真之助学長 特別インタビュー

05 Feature 特集 祝! 卒業記念パーティー

・4学部の実行委員長座談会



08 Activity report 活動報告

08 ・第50回 志学祭

09 ・ハロウィンパレード泉ヶ丘2015

10 ・劇団ポリス ・リーダーストレーニング

11 ・フィリピン レトラン学院大学交流会

・下宿生・寮生のつどい ・青パトドーナッツ

12 ・海外留学生レポート



13 Information インフォメーション

・就職課からのお知らせ

・日本学生支援機構奨学金
「奨学金継続願」の提出手続きについて



14 Club Report クラブ活動報告

14 ・ソフトボール部 ・サッカー部

15 ・JAZZ研究会 ・手話クラブsign



16 And More

・大阪大谷大学50年史



Feature 緊急座談会

**学生生活クライマックス!
卒業記念パーティー特集**

学生生活の最後を飾る卒業記念パーティー。
4学部の実行委員が卒業生たちに最高の思い出を作ってもらおうと、
今年も思考を凝らして準備を進めています。
そこで、今年の卒業記念パーティーの見どころなど、一足早くお聞きしようと
各委員長の皆様にお集まりいただきました。

Graduation party 2015



薬学部

文学部

教育学部

人間社会学部

**祝
卒業**



薬学部 薬学科



文学部 日本語日文学科



文学部 文化財学科



教育学部 教育学科



人間社会学部 人間社会学科・スポーツ健康学科

勝ち負けを競い合っていないけど、みんな自分の学部の卒業記念パーティーが1番と思って頑張っています。

実行委員に参加を決めた理由はなんですか？

◆吉田君

僕は学科の先生・職員の方に声をかけて頂いたのがきっかけでした。参加するか悩みましたが、サークル活動や部活動をやっていないので、最初で



榎田 悠介 (教育学部 教育学科)

最後に何か成し遂げたいという思いで引き受けました。

◆榎田君

僕も同じで、卒業するまでの一番大きなイベントでもあり、去年お手伝いとしてパーティーに参加させて頂いた時に多くの人の笑顔が感動的だったので参加を決めました。

◆住江君

みんな凄いですね！僕の場合、薬学部では各講座から1人選出してとの事だったので、じゃんけんに負けてという受け身な理由です(笑)が今はやって良かったともろん思っています。

実行委員長としての主な役割を教えてください。

◆吉田君

他学科の委員長とほぼ同じだと思うのですが、実行委員への指示、伝達、学生や先生方への配布資料の作成などが中心です。

◆小松君

僕はミーティングでの司会進行と取りまとめをすることです。あと、ホテルの担当者への連絡や当日の打ち合わせが主な役割です。



吉田 昌史 (文学部 文化財学科)

◆住江君

薬学部の実行委員は下級生が関わらないので、実行委員の経験者がいなくて前年の役割が曖昧なため、委員長が係や役割を決めています。

◆榎田君

みんなと同じことが多いですが、加えて後輩に残せるようにミーティングでの議事録を細かく書いています。僕たちもわからなくて苦労している部分があるから、下級生には苦労しないように出来るだけ詳しく議事録を残しています。

実行委員に参加する前と後で印象に違いはありましたか？

◆小松君

参加前は華やかで豪華な会にしようと考えていましたが、実際には映画やドラマみたいにスムーズに進まず、パーティーには予算も含めて様々な厳しさを感じました。

◆野口君

僕も大変さを知りましたね。学生の連絡・確認など円滑に進まない事も多く、難しさを感じます。

◆榎田君

でも、この努力の集大成が素晴らしいパーティーであるんだと実感するとともに、このような手順、作業を踏まえて行われていたという現実を学びました。

◆住江君

薬学部では卒業後に国家試験があり、試験の準備期間となるので、時間を見つけて準備を進めるのが思っていたよりずっと大変です。



野口 亮太 (文学部 日本語日文学科)

ズバリ！今年の実行委員を一言で表すと「○○○○委員会！」

◆野口君

文学部 日本語日文学科は皆がしっかりしているので、「全員がリーダーな委員会」です。指示を出す前に一人ひとりが仕事を率先してやってくれているので、非常に助かっています。

◆小松君

人間社会学部はそのままで、「人生の思い出の1ページ作り委員会」です。参加者の思い出に残り、参加者同士が思い出を語り合える楽しいイベントにしたいです。

◆吉田君

文学部 文化財学科は「マイペース」です。(笑) まだ時間があり、みんなゆっくりしていますが、徐々にペースを上げて卒業記念パーティーまでに一人ひとりが活躍の一つになる委員会を目指します。

◆榎田君

うちは「盛り上がる委員会、一つになる委員会」です。250人以上参加のパーティーを委員会8人と3回生で動かすので、常に情報共有を意識しています。

◆住江君

薬学部としては「ひと味違った委員会」です。薬学部は他学部比べて6年間同じ仲間や先生方と過ごす時間も長いので、卒業記念パーティー当日は新鮮さを感じ得ることを意識しています。

今年の卒業記念パーティーのテーマと見どころを教えてください。



◆榎田君

今年のテーマは2つあります。1つ目は泣き笑いを共有できる幸せを胸に！という【宴】と、2つ目は卒業後はそれぞれ違う進路に進みますが、皆で手を取り合って新たなステージ(社会)に挑むための【団結式】という意味で2つのテーマにしました。見どころは、2つのテーマを基軸とした中に、4年間の軌跡を振り返れるものにして催し物は現在



小松 悠貴 (人間社会学部 スポーツ健康学科)

企画中ですが、全員が協力しないと実現できない企画など、一つになれるものを考えていますので楽しみにしてください。

◆小松君

会場がパリ・タワーホテルというアジアアーティストのホテルで行うので高級感を意識して、「しみりとした別れではなく、笑顔で最後まで楽しむ」をテーマにしています。思い出に残るようなゴージャスで楽しいパーティーを目指しています。

見どころは去年までの催し物にプラスして、ダンス部の有志の方をお願いして行われるダンスイベントです。

◆吉田君

テーマや催し物は現在企画中ですが、決まっているのはビンゴゲーム。見どころとしては、学生からいっぱい集めた写真でスライドを作成して、人間社会学部とは逆にしみりと4年間の思い出にひたれるようなものにしたと考えています。思い出とともに涙で最後を飾りたいです。

◆野口君

うちのテーマは「感謝、そして跳躍」です。それぞれの夢を抱いて入学し集まったメンバーが、夢を叶えるためにお互い励まし合いながら過ごした時間に感謝をして、今後皆が社会に出て飛躍してほしいという思いからです。見どころは、毎年恒例の3回生企画による催し物や一人ひとりが色紙を持つためのメッセージ交換会です。

◆住江君

薬学部はまだ決まっていないところが多いですが、「先生も学生も一緒になって盛り上がる」ことがテーマですね。参加型の催し物や先生方を交えてのバツゲームなど、謝恩会というより最後にみんなで遊びましようというテーマです。見どころは無礼講でゲームを楽しみ、今年は騒いじゃおう！ということですかね。(笑)



住江 諭 (薬学部 薬学科)

Activity report

活動報告

第50回志学祭開催

テーマは「彩」**2015年 11/14土・15日**

Back to the basics!

秋も深まった11月14日(土)、大阪大谷大学では、学生の祭典「志学祭」が行われました。

前日の天気予報は雨でしたが、学生たちの熱い思いが雨雲を吹き飛ばし、朝早くから、大学祭実行委員の指示の下、模擬店は鉄板に火を入れ、展示室の教室では、いつでも迎えられるように忙しく動き回り着々と準備を進め、いよいよ始まる「志学祭」を皆、興奮気味に開始の時を待っていました。梵鐘の音を合図に始まった「志学祭」は、多数の来場者が訪れ、盛大なオープニングを迎えました。

記念すべき50回目を迎えた今年のテーマは「彩」。サブテーマに「真っ白なキャンパスに七色を」を掲げ、大学をキャンパスに見立て、自分たちだけでなく、来場された皆様も一人ひとりが真っ白なキャンパスに色を彩ってほしいとの想いを込めました。富田林のこの地に大学があるという事を見つめ直し、地域との協働に主眼を置き、自分たちの若さとバイタリティ、大学という知見を少しでも地域に貢献出来ればと思い、積極的に地域と連携を組みました。その結果、卒業生同窓会「成光会」様のご協力をいただき、朝日放送「おはよう朝日です」のお天気キャスター 正木明氏を招き、気象と防災についてのご講演をいただき、富田林市消防本部からもご列席され、地域の方とともに、自然災害について学ぶことができました。

2日目の15日(日)には天気も回復し、より多くの方々が入場され、昨年の来場者数を大幅に上回りました。今回の「志学祭」において、地域との繋がりの重要性を改めて再認識をし、今後も地域と共に歩んでいければと思います。

2015年 11/14土・15日



Team Y.A.O.が大活躍!

ハロウィンパレード 泉ヶ丘

2015 10/31 土

大成功に終わった官民学連携プロジェクト

平成27年10月31日(土)に「ハロウィンパレード 泉ヶ丘2015」が泉北高速鉄道泉ヶ丘駅周辺で開催されました。泉ヶ丘駅前地域活性化の取り組みとして始まった「ハロウィンパレード」。この企画は、泉北ニュータウン再生府市等連携協議会と本学が連携協力の協定書を結び、官民学連携の一大プロジェクトであり、今年で3回目の参加になります。

本学における中心的役割を果たすTeam Y.A.O.は、7月からハロウィンパレード当日までの期間に、縁日ブースの企画・運営や当日のスタッフの流れを決めるなど様々な事に取り組んできました。スタッフとして文化会・大学祭実行委員会・人形劇(有志団体)・その他協力学生も参加し、委員会同士の連携を深めながら当日のボランティアを行いました。また、JAZZ研究会と吹奏楽部は、堺市音楽団とともに子どもたちがパレードを行う際にマーチを演奏し、アカペラ部・手話クラブsign・バトントワリング部はステージでそれぞれのパフォーマンスを披露し、会場を盛り上げました。縁日ブースでは、ハロウィンにちなんで、お化けやかぼちゃのキャラクターを的にした射的、新聞紙を加工しゴーストに見せかけ、ハロウィン感を満載にしてボーリングレーンを作ったゴーストボーリングや場内で仮装した大学生を見つけてシールを集めると景品がもらえる宝探しビンゴの3つの縁日の企画を行い、大盛況のイベントとなりました。しかし、当日に見えない場面での問題点がいくつかあり、チーム内での課題もいろいろ見つかりました。この課題を達成していけるよう、これから多角的に物事を考え活動していきたいと思えます。そして、今回のイベントに参画してから日々自分たちの考えた企画が実現しています。これからも「泉北ライブタウン会議」と協力を重ねて、組織内で向上心を持ち、地域の活性化に努めていきたいです。



日頃の地道な活動が評価され
大阪府警察本部から表彰を受けました。

劇団ポリス 2015年 10/3 土

これからも地域の防犯に
貢献していきます。

平成27年10月3日(土)「全国地域安全運動大阪府民大会」にて、(大阪大谷大学 劇団ポリス)が大阪府警察本部と大阪府防犯協会連合会より日頃の功績を称えられ表彰されました。

「劇団ポリス」は、富田林警察署の指導により平成25年11月から寸劇を通じて性犯罪や街頭犯罪の防止を呼び掛ける活動を学生有志で始めています。大学祭や地域のイベントで同署のアドバイスのもと、ひったくりや痴漢など、身近な犯罪の手口や場面を劇で再現し、防犯キャンペーンを展開しています。

また、12月8日(火)には大谷幼稚園にて、園児を対象に防犯標語「いかのおすし(いかない・のらない・おおごえをだす・すぐにげる・しらせる)」の寸劇を披露し、園児が危険なことに巻き込まれないよう注意を促しました。



課外活動の活性化のため、実りある意見交換が実現しました。

リーダーズトレーニング 2015年 11/28 土



平成27年11月28日(土)にリーダーズトレーニングが開催されました。本年度のリーダーズトレーニングは、初の試みとなる課外活動団体の上部組織である体育会・文化会・Team Y.A.O.大学祭実行委員会が融合して日々、会議を重ね、開催に至りました。当日の午前中は「分科会」、体育系団体と文化系団体に分かれて、各部活動での「悩み、リーダーとは何か」など部活動をより活性化するために話し合いが行われ、例年の事ではありますが、体育系団体はおとなしく、文化系団体は自分の意見を積極的に言い合い、活発に話し合っていました。文化系団体、体育系団体の両方の意見として上がったのが「資金不足」と「練習場所」についてです。

午後からは「元日本男子バレーボールチーム監督 植田辰哉先生による講演会」が開催され、「リーダーとしての役割」等の内容についてご講演をいただきました。その後のオリエンテーションでは、文化会はフォスノードーム作成、体育会はバレーボール大会を行いました。今回のリーダーズトレーニングで、普段接することのない団体同士が関わることで、各団体から「良かった」という声を聞いております。

これから一年、課外活動を盛り上げていくため、実り多いリーダーズトレーニングとすることができました。そして、来年度に向けて、どのようなリーダーズトレーニングにするか体育会・文化会・大学祭実行委員会・Team Y.A.O.が既に動き出しています。



フィリピン レトラン学院大学との
交流会を実施しました!

2015年
11/9 月

1昨年5月に本学との大学協定を締結したフィリピンのレトラン学院大学との交流会が河内長野市国際交流協会のご協力のもと、平成27年11月9日(月)に実現しました!当日は、多くの職員や先生方も歓迎セレモニーにご参加くださり、盛大なお出迎えとなりました。本学合唱団によるフィリピン国歌斉唱、学長のご挨拶、英語での大学紹介でスタートした交流会。さらに書道部のお手伝いで書道体験やサポート学生と英語で交流を深めながらの楽しい体験となりました。ランチパーティーには吹奏楽部、JAZZ研究会、フットサル同好会による演奏とダンス。志学祭を控え大忙しの中、練習した成果を披露し、レトラン学院大学の皆さんも大喜びでした。ランチはシング(フィリピンの料理)を含めたビュッフェを堪能。美味しい食事にさらに会話も弾みました。参加し協力してくださった皆さん、ありがとうございました!



下宿生・寮生のつどい 2015年 10/18 日



平成27年10月18日(日)雲ひとつない晴天に恵まれ、「下宿生・寮生のつどい」が行われました。このつどいは、下宿生・寮生の悩みや不安をくみ上げ励ますことを目的に、毎年秋に開催。出発後バスの中では、お昼に何を食べようか?どこに行くか?と降車場所の梅田での自由時間の話題で持ちきりに。梅田に到着後、集合時間まで、グループ毎に目指す場所に向かって散会しました。再度集合し、今回の目玉である劇団四季上演のライオンキングを観劇し、その後、あべのハルカスに移動して本学ハルカスキャンパスにて懇談会を行い、夕食後には、あべのハルカス展望台に全員で上がりすばらしい夜景を楽しみました。参加した学生は、下宿生活や寮生活について、防犯や施設面、一人暮らしで経験したことや学んだことを中心に活発な意見交換が行われ、普段経験することができない話し合いができた楽しい時間を過ごしました。下宿ならではの不安などを共有するなど、互いに助け合う場になれば今後大きな助けになると思います。初めて参加して知らない人たちもいる中で不安もありましたが、友達もできましたし、行事の内容もすばらしくとても楽しめました。来年もあれば必ず参加したいとの声が多数上がっていました。

青パト ドーナッツ参加隊員募集!
私たちと一緒に子どもたちを守ろう

「青パト ドーナッツ」は、平成27年1月に発足した地域見守り隊です。この活動は、Team Y.A.O.の活動の一つで、青色灯火パトロールカーと立哨で地域の子どもたちを守り、また、立哨することで、下校中の子どもたちへの不審者からの声掛け防止や、交通事故防止など防犯活動を行っており、見守り隊員は日々奮闘しています。「青パト ドーナッツ」は、子どもたちにただ関わるだけでなく、「子どもを守る」という使命の下、地域の方々と一緒に活動をしていき、地域見守り隊として、犯罪や事故を未然に防ぐだけでなく、温かみのあるまちづくりに協力しています。Team Y.A.O.は、見守り隊員を募集しています。私たちと一緒に地域の子どもたちを見守り、安全で温かなまちづくりをしませんか。いつでも私たちはあなたの参加を待っています。詳しくは学生課まで!



海外留学生レポート



当たり前が当たり前でないことを実感、異文化に触れ、大きく成長することができた。

9月の初めに日本を旅立ち、ニュージーランドに来て、もうすぐ3か月が経とうとしています。ニュージーランドに来てすぐは、5か月間も自分の事を誰一人知らないところ、ましてや言語が違う国でやっていけるのかという不安で、一日一日がとても長く感じていましたが、今では、様々な国の友達やこの街に色々な刺激を受けながら生活をし、一日がとても早く過ぎているような気がしています。

ホストファミリーやクラスメイトと何気ない日常会話をしているうちに自然とリスニング力も身に付いたように感じます。わからない単語が会話の中で出てきてもすぐに辞書を引かず、前後の文の関係から単語の意味を考え、どうしてもわからない時は英語でその単語を説明してもらって、英語を日本語に置き換えて理解するのではなく、英語を英語のまま理解するように努めたからだと思います。

また、英語力を向上させたいと思い留学を決心して、ニュージーランドに来たのですが、こっちに来て自分のスピーキング力や語彙力の乏しさなどを痛感し、さらに英語に対するの向上心を持つことができました。こっちに来て一番感じたことは、日本でしていた生活が決して当たり前なんかじゃないということです。電車やバスが時間どおりに来ること、一日の終わりにゆっくりお風呂につかれることなど、たくさんのことが様々な人のおかげで成り立っていたことに気付いて、一つ一つの事に感謝の気持ちを持てるようになりました。英語力を身に付けるだけでなく人間的にも成長でき、私は留学に来てとても良かったと思っています。

人間社会学部 人間社会学科 3年生 立花 一晃



Information インフォメーション

◆◆◆ 就職課からのお知らせ ◆◆◆

あなたの面接選考応援します。

平成27年度就職課の新しい取り組みとして、就職面談室にAV機器を設置しました。就職活動を経験した学生のみなさんが困ったこととして、『面接で緊張してしまい、ほとんど話せなかった』というご相談がよくあります。いつもと違う環境で、それも今後の人生を左右する面接で、緊張しないわけがありませんよね。そこで就職課がお勧めするのが、〈面接練習〉です。〈面接練習〉には、個人面接・集団面接・グループディスカッション等、選考で課されるテーマを想定しての練習を随時受け付けています(予約制)。2015年4月～11月に就職課では、〈面接練習〉は200件を超える申し込みを受け付けています。そのなかでも特に好評なのが、模擬面接をビデオ撮影し、そのままフィードバックに役立てる練習方法です。模擬面接を経験したみなさんは、いつもの自分とは違う、面接という場面での自分の癖に気づき、驚かれています。また、声の出し方、話し方を工夫するなど、ダイレクトな〈自分発見ツール〉として活用されています。就職課では、この取り組み以外にも多くの〈自分発見ツール〉をご用意して学生のみなさんの就職活動を支援しています。



くわしくはホームページをご覧ください。
▶ <http://www.osaka-ohtani.ac.jp/employ/placement/>

日本学生支援機構奨学金 「奨学金継続願」の提出手続きについて

詳しくは
学生課まで

[提出期限] 平成28年2月11日(木)まで ※未提出の場合は
廃止となります

奨学金継続願は学業を続けるために、奨学金が継続して必要か否かをあなた自身が判断し、スカラネットパーソナルで提出(入力・送信)するものです。上記期限までに提出(入力・送信)手続きをしない場合は継続意思がないと判断され、奨学生としての資格を失い、次年度4月以降の奨学金の交付は廃止されます。廃止されると、返還請求の手続きが必要となります。

Club Report

クラブ活動報告

体育会

ソフトボール部

全国大会優勝を目標!

結果にこだわり、常に上を目指す

ソフトボール部は、関西学生ソフトボール1部リーグに所属しており、4年生11名、3年生9名、2年生13名、1年生9名、マネージャー1名の計43名で活動しています。平日は夜8時まで、土日祝日は朝9時～夕方5時まで学内のソフトボールグラウンドで練習を行っています。今年の春のリーグ戦では第3位になることができ、文部科学大臣杯全日本大学選手権大会や、西日本大学選手権大会に出場しました。残念ながら両大会ともに強豪校の壁を破ることができませんでしたが、その悔しさをバネに日々練習に励んでいます。秋のリーグ戦でも第3位という結果を残しましたが、その結果に満足することなく1部1位を目指して努力しています。先輩・後輩での上下関係はしっかりしていますが、チームメイト同士が仲良く、また緊張感も絶えずことなく全力で練習に取り組んでいます。部全体がひとつにまとまり、全員で同じ目標に向かって頑張っています。応援よろしくお願いします。



サッカー部

機能的な練習とチームワークで
上位リーグ昇格を!

サッカー部は火曜日～土曜日に練習し、日曜日は公式戦を行っています。今年度は関西学生リーグ2部Bリーグに所属し、自分たちの力をなかなか発揮できず10チーム中8位に終わりました。入れ替え戦では3部リーグ3位のチームと対戦し90分で決着がつかず延長戦にもつれ込みました。延長戦では先に先制されながらもなんとか同点に追いつき、再延長の末、逆転し2部残留することができました。来年度は今年度のリーグ戦、入れ替え戦の経験を生かし、2部Aリーグ昇格のために、日頃より各自が体力、技術力の向上を図る意識付けを行い、各々がリーグ戦開幕まで練習に励みます。また、サッカーを通して地域の方々と交流を進め、様々なボランティア活動を積極的に行っていきます。また、今は地域の子どもたちを対象にサッカー教室の開催を目指しています。私たちは、サッカーを通じて、社会貢献できるよう日々がんばっています。



2014年度第92回
関西学生サッカーリーグ3部リーグ大会優秀選手賞
西川 諒祐 スポーツ健康学科 3年生



文化会

JAZZ研究会

学園祭や定期演奏会に向け
日々パフォーマンスを磨く!

JAZZ研究会は現在、2回生9名、1回生11名の合計20名で、週3回のペースで活動しています。ビッグバンド編成のジャズ曲を中心に、ポップスやロックなどにも挑戦し、バラエティに富んだジャンルの曲を演奏しています。志学祭や定期演奏会のほか、地域の行事や小学校でのパフォーマンスなど、様々な舞台に向けて、日々の練習、長期休暇中の合宿などを通して技術を磨いています。

今年度は、新入生歓迎会での舞台演奏、音楽系団体合同でのスプリングコンサート、志学祭でのライブなど毎年行うイベントで演奏した他、富田林の寺内町内にある杉山家邸宅での石上露子誕生祭での演奏や、吹奏楽部と合同で泉ヶ丘ハロウィンパレードでの鼓笛隊としてパレードをしながらの演奏、レトラン学院大学交流会での演奏など、新しい場での演奏の機会も多くいただき、例年より充実した活動を行っています。現在は、3月に行う定期演奏会に向けて、新曲の練習や企画などの活動に全員で取り組んでいます。



手話クラブsign

より多くの人に
手話の大切さを伝えていきたい

私たち手話クラブsignは現在約50名の部員数で毎週火曜日と金曜日のお昼休み、火曜日の放課後を中心に楽しく活動しています。手話を通してたくさんの人と通じ合うこと、手話について学び、たくさんの人に知ってもらうことを目標としています。部員のほとんどが大学から手話をはじめた人達です。活動内容は手話を使ったゲームなどから手話検定へ向けての勉強、手話をする上で大切な表現力をつけるために簡単な手話劇の練習など、手話に関する幅広い内容を行っています。そして毎年、志学祭や泉ヶ丘にて行われるハロウィンパレードなどでは、部員全員が一体となり一生懸命練習に取り組み、手話歌の発表をしています。普段の活動から部員同士とても仲が良く元気いっぱい楽しく活動しています。またここかの場で発表を見る機会などがあれば、よろしくお願いします。

みんな
見に来てね!!

第10回 大阪大谷大学吹奏楽部 定期演奏会開催

[日時] 平成28年2月28日(日) [開場] 13:00(開演13:30)

[場所] 大阪府柏原市民会館「リビエールホール(小ホール)」(大阪府柏原市安堂町1-60)

今年度も恒例である「大阪大谷大学吹奏楽部 定期演奏会」を開催する運びとなりました。吹奏楽部は、学内では「ランチコンサート」等を積極的に行い、学外では「ハロウィンパレード泉ヶ丘2015」にて鼓笛隊に参加する等、活動の場を広げてまいりました。そして、思いの詰まった演奏を本番で出せるように毎日練習に励んでおります。昨年度よりもさらに素晴らしい演奏会にすることを約束いたしますので、是非とも会場まで足をお運びください!
なお、定期演奏会の詳細については <http://www.osaka-ohtani.ac.jp/> TOPICS & NEWSまで!

曲目 「K点を越えて」
「風になりたい」
「ARSENAL」 他

50

その想い、未来へ

OSAKA OHTANI

50周年の伝統を、未来との架け橋(アーチ)で、
想いを繋いでいく姿勢を表現しています。

大阪大谷大学 創立50周年

- | | |
|-------------|---|
| 昭和41年(1966) | 大谷女子大学文学部(国文学科・英文学科)を大阪府富田林市錦織において開学 |
| 昭和42年(1967) | 体育館および総合グラウンド竣工 |
| 昭和43年(1968) | 西館および南館増築 |
| 昭和44年(1969) | 成光館竣工 |
| 昭和45年(1970) | 文学部に幼児教育学科を増設 |
| 昭和47年(1972) | 音楽館竣工 |
| 昭和48年(1973) | ビジュアルセンター館竣工
図書館竣工 |
| 昭和49年(1974) | 別館(保育室、観察室、視聴覚教室、絵画教室、心理学実験室を含む)竣工 |
| 昭和50年(1975) | 大学院文学研究科(国語学国文学専攻、英語学英米文学専攻)の修士課程を設置 |
| 昭和51年(1976) | プール竣工 |
| 昭和52年(1977) | 大教室館(大教室・中教室・茶室を含む)・ゼミナールセンター(合宿室・クラブ部室)竣工 |
| 昭和53年(1978) | 大学院文学研究科(国語学国文学専攻、英語学英米文学専攻)の博士課程を設置
資料館(学芸員課程実習館)竣工 |
| 昭和58年(1983) | 図書館別館竣工
資料館、博物館相当施設の指定を受ける |
| 平成元年(1989) | 志学館竣工 |
| 平成6年(1994) | 図書館別館書庫増築(集密書架) |
| 平成7年(1995) | 音楽館竣工
学生ホール・茜を設ける(旧音楽館) |
| 平成9年(1997) | ウエルネスセンター竣工 |
| 平成10年(1998) | 情報教育センター設置 |
| 平成11年(1999) | 博物館竣工 |
| 平成12年(2000) | 文学部に文化財学科、コミュニティ関係学科を増設
国文学科、英文学科、幼児教育学科の名称を、それぞれ日本語日文学科、英語英米文学科、教育福祉学科に変更
教育福祉学部 教育福祉学科を設置 |
| 平成16年(2004) | 大学院文学研究科に文化財学専攻の修士課程・博士課程を増設 |
| 平成17年(2005) | 人間社会学部 人間社会学科を設置
教育福祉専攻科を設置 |
| 平成18年(2006) | 英語英米文学科の名称を、英米語学科に変更
大学の名称を大阪大谷大学に変更し、全学部男女共学となる |
| 平成21年(2009) | 薬学部 薬学科を設置
薬学部実験研究棟竣工
教職教育センター設置
教育福祉学部幼児教育実践研究センターを設置 |
| 平成24年(2012) | 教育福祉学部教育福祉学科を教育学部教育学科に名称変更
教育学部教育学科に幼児教育専攻、学校教育専攻、特別支援教育専攻を置く
人間社会学部にスポーツ健康学科を設置 |
| 平成26年(2014) | 文化財学科の名称を、歴史文化学科に変更
大阪大谷大学 ハルカスキャンパスを開設 |
| 平成27年(2015) | 薬学部薬学教育支援・開発センターを設置
特別支援教育実践研究センターを設置 |



開学当時の風景

お問合せは、学生課まで

発行日:2016年1月15日

 **大阪大谷大学**
Osaka Ohtani University

学生課

〒584-8540 大阪府富田林市錦織北 3-11-1 TEL.0721-24-0381(代)

TEL.0721-24-0384(学生課直通) FAX.0721-24-0511